

くらしの 情報 Information

村のお知らせではできるだけこのコーナーで行います。皆さんからの情報もご提供ください。できるだけ掲載します。

スポーツ保険にご加入を

財団法人スポーツ安全協会では、スポーツ、文化・ボランティア・地域活動など行う5人以上のアマチュア団体を対象とします。

▷対象となる事故…団体の活動中の事故、経路往復中の事故など

▷掛金…①中学生以下の子ども500円、1,050円(個人活動含む)②中学生以下の子どもの団体の保護者500円③中学生以下の子どものスポーツ団体の指導者1,000円④大人の文化・ボランティア・地域活動500円⑤老人クラブなど800円⑥大人のスポーツ活動1,500円

▷問い合わせ先…村教育委員会事務局 社会体育係 (☎35-2711、内線177)

春季火災予防運動の実施

全国春季火災予防運動の一環として村消防団、婦人消防協力隊、久慈消防署普代分署の合同で、次のとおり一般家庭予防査察を行います。

▷期間…3月1日(水)～7日(火)

▷行事…一般家庭予防査察、防火対象物予防査察、防火パレード

▷標語…「あなたです 火のあるくらしの見はり役」

▷問い合わせ先…久慈消防署普代分署 (☎35-2119) まで。

医師養成修学生を募集

県では、将来県内の県立病院や市町村立病院などで地域医療に従事することを希望する医学生に、次のとおり修学資金を貸し出します。

▷募集期間…3月1日(水)～31日(金)

▷募集人数…10人程度

▷選考面接…4月上旬(書類審査含む)

▷貸付額…①月額20万円②入学一時金760万円(私立大学医学部入学者のみ)

▷償還の免除…医師免許取得後、岩手県内の県立病院と市町村立病院などで貸し付けを受けた年数(入学一時金の貸し付けを受けた場合は、3年を加算)勤務することにより、償還が免除されます。

▷問い合わせ先…保健福祉課 (☎35-2114)、岩手県国民健康保険団体連合会 (☎019-623-4324)

自宅がキャンパス 放送大学

＝平成18年度第1学期生を募集＝

【募集学生】

- ①学部・全科履修生(4年以上在学し卒業を目指す学生)
- ②学部・選科履修生(1年間在学し希望する科目を学ぶ学生)
- ③学部・科目履修生(6ヶ月在学し希望する科目を学ぶ学生)
- ④大学院・修士選科生(1年間在学し希望する科目を学ぶ学生)
- ⑤大学院・修士科目生(6ヶ月在学し希望する科目を学ぶ学生)

【学習方法】

☆「スカイパーフェクTV!」を設置しての自宅学習のほか、学習センターからテープの貸し出しを受けて学習できます。

☆あらゆる分野の約360科目の中から興味のあるものを選んで学習できます。(1科目からでもOK)

【学費】

入学科	①22,000円(全科履修生)
	②8,000円(選科履修生)
	③6,000円(科目履修生)
	④16,000円(修士選科生)
	⑤12,000円(修士科目生)
授業料	①～③学部:1単位当5,000円(テキスト代含む)
	④～⑤大学院:1単位当10,000円(テキスト代含む)

【出願所受付期間】(無料配付)

2月28日(火)

【お問い合わせ】

放送大学岩手学習センター(岩手大学構内)

TEL 019-653-7414(月曜・祝日閉所)

放送大学ホームページ <http://www.u-air.ac.jp/>

おわびと訂正

先月号3ページの今年の抱負・目標で、戌年生まれの人数は、平成6年生まれ13人が「33人」、合計の241人は「261」の間違いでした。おわびして訂正します。

「広報ふだい」、3部門で入選

◆17年度県市町村コンクール◆

平成17年度市町村広報コンクールの審査会が1月13日、岩手県自治会館で開かれ、「広報ふだい」が写真の部・組写真で1位(11月号)と3位(10月号)、1枚写真で3位(11月号)、広報の部で3位(6月号・チョウセンアカシジミ特集号)と3部門で入選しました。同コンテストで3部門での入選は初めて。組写真1位作品(写真)は「ふだいまるごと海産まつり」の様子を2ページにわたり9枚の写真で表したものです。同作品は県代表として全国広報コンクールに推薦されます。これまで取材にご協力いただいた皆さんに感謝いたしますとともに、これからも皆さんに親しまれる広報紙づくりを目指します。広報の部の審査結果は次のとおりです。◆広報の部…①広報いわてまち②広報かねがさき、総合情報誌ふじさわ③広報たのはた、広報ふだい、広報やまだ、広報みずさわ



表紙のこぼ

「いい子にします～」



2月3日は「節分」。普代児童館(野崎真信館長、園児76人)でも節分集会が行われました。節分のお話やゲームをして「鬼は～外、福は～内」と練習までは良かったのですが、突然「ドン! ドン! ドン!」と大きなドアをたたく音がして鬼が出現。一斉に鬼に向かって豆(落花生)を投げつけますが、子ども心に鬼はやっぱり怖いもの。鬼に捕まると「いい子にします」と半べそをかいていました。「めんこいごど」。